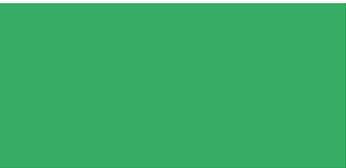


AMT Dental Consulting

歯科医院における生成AI活用の 重要性とポイント



CONTENTS

1. 生成AIとは？

2. 用途別：生成AIの種類

3. プロンプトとは？

4. お問い合わせ

PART

01

 YOUR LOGO



生成AIとは





生成AIとは

生成AI（Generative AI）は、人工知能の一分野であり、既存のデータを学習し、新たなデータやコンテンツを生成する技術を指します。テキスト、画像、音声、動画など多様な形式のコンテンツを自動的に作り出す能力を持ちます。ディープラーニングを用いて大量のデータからパターンや特徴を学習し、新しい情報やアイデアを生み出すことが可能です。

生成系AIが歯科医院経営において注目されている理由

- 1) 業務効率化と自動化：生成AIは、日常業務の自動化に役立ちます。例えば、メール文案作成、レポート要約、通達添削、議事録作成、企画立案など、多様な業務を自動化できます。
- 2) 顧客体験の革新：生成AIは対話型のインターフェースを提供し、顧客を様々な形でサポートできます。ITサービスやシステムの操作を自然言語の対話操作に移行できるため、顧客体験を革新できます。
- 3) クリエイティブなアイデアの創出：生成AIは新しいコンテンツやデータを生成できるため、クリエイティブな分野での活用が期待されています。画像、テキスト、音楽、ビデオなど様々な形式で出力が可能です。
- 4) ビッグデータ活用の進化：生成AIは大量のデータから学習し、高度な判断を下すことができるため、ビッグデータ活用の進化に貢献しています。
- 5) コスト削減：生成AIの導入により、人員削減や作業効率の向上が期待できます。

PART

02

 YOUR LOGO



用途別：生成AIの種類



用途別：生成AI



文章生成：ChatGPT, Claude

自然な対話能力、高い汎用性、要約や翻訳、プログラミング支援に活用可能

→**歯科医院におけるカウンセリング用トークスクリプトに応用可能**



画像生成：DALL-E, Midjourney

高品質な画像・イラストの自動生成、デザイン分野での活用

→**歯科医院におけるカウンセリング用説明資料作成に応用可能**



動画生成：RunwayML, Synthesia

AIが動画を自動生成、マーケティングや教育コンテンツに活用

→**歯科医院における受付やユニットモニターでのPR動画作成に応用可能**



プレゼンテーション作成：Felo AI

スライドデザインとコンテンツを自動生成、ビジネス資料作成を効率化

→**歯科医院におけるカウンセリング用説明資料作成に応用可能**

PART

03

 YOUR LOGO



プロンプトとは？



プロンプトとは？

プロンプトの定義

プロンプト（Prompt）とは、生成AI（例：ChatGPT、Claude、Gemini）に対して入力する指示や質問などのことを指します。プロンプトの質によって、AIの出力の精度や有用性が大きく変わります。

プロンプトが重要な理由

- 1) 出力の質を向上させるため
→ 明確で具体的なプロンプトを見据えて、AIはより正確で実用的な回答を生成できます。
- 2) 時間と労力を削減するため
→ 良いプロンプトを使うことで、修正や追加質問の手間を減らし、効率的に情報得られます。
- 3) 専門性の高い情報が得られるため
→ 業界特化のプロンプトを使えば、SEO、M&A、マーケティングなど、より深い知見をAIから楽しめます。

具体的なプロンプトとその事例

目的：小児歯科のブログ記事の作成

プロンプト：

【あなたは小児歯科の専門家です。子どもの歯の健康に関心がある親御さん向けに、ブログ記事を作成してください。】

記事タイトル：「【〇〇市の小児歯科】子どもの歯を健康に守る」のためのポイント5選」

キーワード：「小児歯科」「子どもの虫歯予防」「仕上げ磨き」

対象：【3歳～10歳の子どもを持つ親】

構成

- 1) 子どもの虫歯予防に悩む親の疑問
- 2) 虫歯の原因と予防方法（食事習慣、歯磨きの重要性、フロア塗布の効果）
- 3) 小児歯科の役割（定期検診、シーラント、歯並びチェック）



【〇〇市の小児歯科】子どもの歯を健康を守るためのポイント5選

子どもの歯の健康を守ることは、親にとって大きな関心ごとのひとつです。特に、3歳～10歳の子どものを持つ親御さんは、「仕上げ磨きを嫌がるけれど、どうしたらいい?」「虫歯を防ぐためにはどんな習慣が大切?」など、多くの疑問を抱えていることでしょう。

本記事では、子どもの虫歯予防に役立つ5つのポイントを紹介します。

1. 虫歯の原因を知ろう

虫歯は、口の中の細菌（ミュータンス菌）が糖分を分解し、酸を作ることで歯を溶かしてしまうことが原因で起こります。特に、以下の3つが虫歯のリスクを高める要因となります。

- **糖分の摂取が多い**：ジュースやお菓子の頻繁な摂取
- **歯磨き不足**：磨き残しがあると、菌が繁殖しやすい
- **唾液の量が少ない**：夜間は唾液が減るため、就寝前の歯磨きが特に重要

2. 正しい食習慣を身につけよう

子どもの虫歯を防ぐには、食生活が大きく影響します。次のポイントを意識しましょう。

- **砂糖を控える**：ジュースやお菓子の代わりに、チーズやナッツなどの健康的なおやつを
- **食事の時間を決める**：ダラダラ食べは口内環境を悪化させるため、食事とおやつの時間をしっかり決める
- **寝る前の飲み物に注意**：牛乳やジュースは糖分が含まれるため、寝る前は水かお茶を

3. 歯磨き習慣と仕上げ磨きのコツ

歯磨きの基本は、毎日しっかり行うことです。特に仕上げ磨きは大切なポイントになります。

- **3歳～6歳**：親がしっかり仕上げ磨きを
- **7歳～10歳**：自分で磨かせつつ、親がチェックを
- **歯ブラシの選び方**：小さいヘッドで柔らかめのものを選ぶ
- **フッ素入り歯磨き粉を使用**：フッ素は歯の再石灰化を助け、虫歯を予防する効果がある

また、「仕上げ磨きを嫌がる」というお子さんには、

- 鏡を見せながら「一緒に磨こう!」と声掛けする
- 好きなキャラクターの歯ブラシを使う
- 短時間でもいいので毎日続ける

といった工夫を取り入れるのがおすすめです。

4. フッ素塗布とシーラントの活用

定期的なフッ素塗布は、歯のエナメル質を強化し、虫歯を予防する効果があります。特に、乳歯や生えたばかりの永久歯は虫歯になりやすいため、小児歯科でのフッ素塗布を習慣にしましょう。

また、「シーラント」という歯の溝を埋める予防処置も有効です。シーラントは、奥歯の溝に薄いプラスチックを塗って、食べカスや菌が入り込むのを防ぐ方法です。特に6歳臼歯（6歳ごろに生える永久歯）には、シーラントをすることで虫歯のリスクを減らせます。

5. 小児歯科の定期検診を受けよう

小児歯科では、虫歯の早期発見・予防だけでなく、歯並びのチェックやかみ合わせの確認も行います。

- **3ヶ月～6ヶ月に1回の定期検診**を習慣に
- **かみ合わせのチェック**：歯並びの異常を早期発見
- **ブラッシング指導**：子どもに適した磨き方を教えてもらえる

小さいうちから歯医者に慣れておくことで、「歯医者嫌い」を防ぐこともできます。

まとめ

子どもの歯を健康に保つためには、日々の習慣がとても重要です。

1. 虫歯の原因を知り、予防策を意識する
2. 食生活を見直し、砂糖の摂取を控える
3. 正しい歯磨き習慣と仕上げ磨きを実践する
4. フッ素塗布やシーラントを活用する
5. 小児歯科で定期検診を受ける

〇〇市の小児歯科では、お子さんの歯を守るためのサポートを行っています。ぜひ、お気軽にご相談ください!

PART

04

 YOUR LOGO



お問い合わせ



→ 株式会社AMI

ご相談は無料です、いつでもお気軽にお問い合わせくださいませ。



住所:
東京都品川区東五反田5-22-
37



Email: info@ami-h.com



電話: 03-5244-5797
(平日9時~18時)